

地域・規模および用途による建物制限 — 外壁 —

●表は建築基準法の制限について概略を示しています。より細部に関する建築関係法令や自治体の条例による制限がありますので、可否判断については申請をされる建築主事または民間の指定確認検査機関に事前にご確認ください。

外壁・共同住宅 ※1

●各認定番号は下表のページを参照してください。

商品	認定	木造耐火構造	鉄骨造耐火構造	1時間準耐火構造	45分準耐火構造	防火構造	準防火構造
LAP-WALL/SOLIDO typeM_LAP	○	○	○	○	○	○	○
窯業系サイディング	○	○	○	○	○	○	○
金属サイディング	○	○	○	○	○	○	○

施工可能な高さは以下の通りです。( )内は基準を満たした場合)  
 LAP-WALL/SOLIDO typeM\_LAP:13m以下(31m以下)  
 窯業系サイディング 横張り:16m以下(31m以下)、縦張り:13m以下  
 金属サイディング:13m以下(木造:16m以下、鉄骨造又はRC造:20m以下)

■ 外壁耐火構造 □ 外壁1時間準耐火構造 ■ 外壁45分準耐火構造 □ 外壁防火構造 □ 外壁準防火構造

構造	地域	延床面積階数 (m <sup>2</sup> )	S ≤ 100	100 < S ≤ 500	500 < S ≤ 1000	1000 < S ≤ 1500	1500 < S ≤ 3000	3000 < S	
			<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>■ 外壁耐火構造</span> <span>□ 外壁1時間準耐火構造</span> <span>■ 外壁45分準耐火構造</span> <span>□ 外壁防火構造</span> <span>□ 外壁準防火構造</span> </div>						
木造	全地域	4階建以上	建物:耐火建築物 外壁:耐火構造						
	防火地域	3階建	建物:耐火建築物 外壁:耐火構造						
		1・2階建	建物:イ準耐(※2) 外壁:45分準耐火構造						
	準防火地域	3階建	【用途が下宿、共同住宅、寄宿舎の場合】 建物:イ準耐のうち木3共相当 外壁:1時間準耐火構造						
		1・2階建	外壁:延焼のおそれのある部分は防火構造			2階用途床面積 ≥ 300m <sup>2</sup> または延床面積 > 500m <sup>2</sup> ⇒ 建物:イ準耐(※2) 外壁:45分準耐火構造			
	法22条区域	3階建	【用途が下宿、共同住宅、寄宿舎の場合】 建物:イ準耐のうち木3共相当 外壁:1時間準耐火構造						
		2階建	外壁:延焼のおそれのある部分は準防火構造			2階用途床面積 ≥ 300m <sup>2</sup> ⇒ 建物:イ準耐(※2)、外壁:45分準耐火構造			
		1階建				外壁:延焼のおそれのある部分は防火構造			
	その他	3階建	【用途が下宿、共同住宅、寄宿舎の場合】 建物:イ準耐のうち木3共相当 外壁:1時間準耐火構造						
		2階建	規制無し			2階用途床面積 ≥ 300m <sup>2</sup> ⇒ 建物:イ準耐(※2)、外壁:45分準耐火構造			
1階建					外壁:延焼のおそれのある部分は防火構造				
不燃構造	全地域	4階建以上	建物:耐火建築物 外壁:耐火構造						
	防火地域	3階建	建物:耐火建築物 外壁:耐火構造						
		1・2階建	建物:口準耐2号(※3) 外壁:延焼のおそれのある部分は防火構造 外壁材:準不燃材料						
	準防火地域	3階建	【用途が下宿、共同住宅、寄宿舎の場合】 建物:イ準耐のうち木3共相当 外壁:1時間準耐火構造						
		1・2階建	規制無し			2階用途床面積 ≥ 300m <sup>2</sup> または延床面積 > 500m <sup>2</sup> ⇒ 建物:口準耐2号(※3) 外壁:延焼のおそれのある部分は防火構造 外壁材:準不燃材料			
	法22条区域及びその他	3階建	【用途が下宿、共同住宅、寄宿舎の場合】 建物:イ準耐のうち木3共相当 外壁:1時間準耐火構造						
		1・2階建	規制無し			2階用途床面積 ≥ 300m <sup>2</sup> ⇒ 建物:口準耐2号(※3) 外壁:延焼のおそれのある部分は防火構造 外壁材:準不燃材料			

※1 建築基準法別表第一第(二)項に属する用途の建築物のうち下宿、共同住宅、寄宿舎、病院、児童福祉施設等。

※2 木造で準耐火建築物を造る場合はイ準耐が一般的で、その外壁は45分準耐火構造以上。

※3 不燃構造で準耐火建築物を造る場合、口準耐2号が、屋根、外壁の構造の自由度が最も高くなります。